

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

- 会長 加藤 敏明
- 幹事 中原 毅
- 会報委員長 小林 誉典

地域を育み、大陸をつなぐ

2010年～2011年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

平成23年4月5日

No. 2108

H23.3.29 (No. 2107の例会記録)

今週の卓話 (4月5日)

「震災と防災」

小川 芳男 職業奉仕委員長
角井 吉彦 会員

ビジター

大阪大手前RC

竹森 敏磨 氏

次週の予定 (4月12日)

ロータリーソング

「手に手つないで」「四つのテスト体操」

先週の例会報告

◆ 出席報告 (3月29日分)

会員数 44名 出席数 37名 欠席者 1名
特定免除 6名 その他免除 0名
出席率 97.73%

前々回3月15日分

ホームクラブの出席者 38名 97.73%

メイクアップの結果 39名

特定免除 5名 その他免除 0名

欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ニコニコ箱

- ・誕生日自祝 3月 植田 恭平 君
- ・結婚記念日自祝 3月 植田 恭平 君
- ・入会記念日自祝 1月 植田 恭平 君
- ・早退お詫び 岡本 日出士君
- ・早退お詫び 木田 眞敏 君
- ・早退お詫び 中原 毅 君
- ・早退お詫び 成田 隆志 君
- ・早退お詫び 橋本 正幸 君
- ・遅刻お詫び 中嶋 啓文 君



皆様、こんにちは。春分もすぎましたが、なかなか暖かくなりません。体調管理には十分気を付けて下さい。

東北地方太平洋沖地震の被害が2次3次と続き、なかなか治まりません。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

また、会員の皆様にご協力いただいた義援金は、今回の地区ガバナーにより構成されるガバナー会が各地区の義援金を集計し、第2520地区（岩手・宮城）や第2530地区（福島）を中心に配分して頂けることになりました。暖かいご支援有難うございました。

さて、本日はロータリークラブの中でも一番重きをおく親睦活動です。その中でも、ニックネームについてお話し致します。

☆ファーストネームまたはニックネーム

ロータリーの初期の頃から、会員は互いにファーストネームで呼び合っていました。個人的な付き合いと友情がロータリーの土台ですから、会員同士の会話では改まった肩書の使用をやめるという慣例を多くのクラブが採ったのは自然なことでした。通常の生活では「～博士」「～教授」「～殿」「～閣下」「～卿」などの敬称をつけて呼ばれる人も、他のロータリアンからはファーストネームで、「ジョー」「ビル」「メリー」「カレン」「チャーリー」などと呼ばれるのが普通です。ロータリー・クラブのあの独特なネームバッジ（名札）が、ファーストネームで呼び合うこの習慣をさらに助長しています。

地域によっては、ヨーロッパのように、会員同士を呼ぶのに、もう少し改まった呼び方をしているところもあります。その他の地域、主にアジアの諸国などでは、新入りのロータリアンにそれぞれ個人的な特徴に関係あるような、または、その会員の仕事や職業を表すようなユーモアたっぷりの愛称を与える習慣のあるところがあります。例えば、「オキシジェン（酸素）」というあだ名の会員は化学ガス製品の製造業、「ツリー（木）」というあだ名の会員は材木屋、「ビルディング」は建築請負、「ペーパー（紙）」は文房具や事務用品の小売商といった具合です。また、この他に、身体的特徴を説明した「マッスル（筋肉）」「フォグホーン（霧笛）」「スマイル」などの愛称を持つ会員もいます。

愛称で呼び合うことは、ほのぼのとした楽しさや親睦の源泉ともなります。ロータリアンがファーストネームで呼ばれようと、愛称で呼ばれようと、親しみのある友愛の精神があってはじめて、他のさまざまな奉仕の機会への扉が開かれるのです。





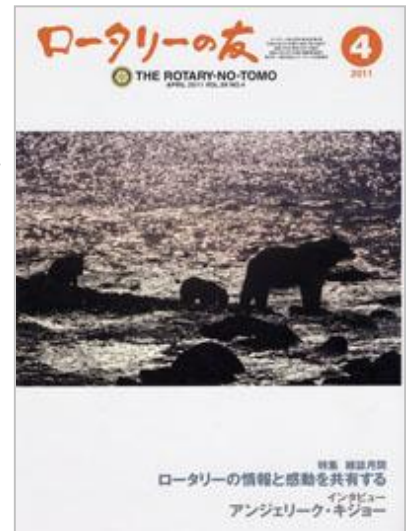
◎雑誌委員会

福富 経昌 委員長

今月の「ロータリーの友」(2011年4月号)

【横組みページ】

☆RI会長メッセージ: 2010年の規定審議会において、いままでの四大奉仕に第五の奉仕部門が付け加えられた。すなわち「新世代奉仕」です。新世代と一緒に
行う我々の活動には、二つの有益な意義がある。第一に、親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップといったロータリーの中核となる価値観に接することによる、参加者たちへの好ましい影響。第二に、参加者のその後の生活において、ロータリークラブに入る動機となるようなロータリーへの肯定的な記憶。



☆今月は「雑誌月間」です。テーマは「ロータリーの情報と感動を共有する」。

- ①ロータリー雑誌の仲間: Rotary World Magazine Press
- ②印象に残った『友』の記事

☆被災者の皆様にお見舞いを申し上げます: Shelter Box

☆アンジェリーク キジョー: アフリカの歌姫はポリオの撲滅と女子教育に挑むように音楽の伝統を融合する (The Rotarian4月号から)

☆世界に羽ばたけ! 米山学友○22: 新興大国インドの日本サポーター…ルチ・ネタニさん(1993-95年/熊本RC)

【縦組みページ】

☆「スピーチ」は、第2770地区 地区大会・地区指導者育成セミナー講演要旨(2010年11月13日)浄土宗大本山増上寺 法務部長 石田祐寛氏による「ははあ…、なるほどあたり前」です。

☆「この人この仕事」は甲府北ロータリークラブの甲州水晶彫刻士・河野道一氏の「石のなりたい形を見極める伝統工芸士」です。

☆卓話の泉:

☆Rotary At Work: 写真編、文章編





「ロータリー雑誌月間に因んで」

福富 経昌 雑誌委員長

「ロータリーの友」基礎知識集（抜粋）

はじめに

●『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関紙

『ロータリーの友』は、国際ロータリー(R I)の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス(『THE ROTARIAN』とロータリー



地域雑誌の総称)の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。R Iでは、ロータリー地域雑誌の定義として、印刷媒体と電子媒体の両方をもって地域雑誌であると規定。印刷媒体である月刊誌の『ロータリーの友』と電子媒体であるホームページ『ロータリージャパン』が作成されている。ロータリーの友編集委員会の願いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からの面白さの有無です。あくまでも「ロータリアンとしてどうか」が「面白い」や「面白くない」の議論より優先させた判断となるべきことで、各人の興味を満足させることが、この機関誌の発行目的ではありません。

●『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌

広報紙ではないので、ロータリアン以外の方々を対象にしては編集されてはいません。もちろんロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことを理解していただけるように努力は行っているが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。世界や日本におけるロータリーの状況やロータリー活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集と、より身近でより親しめる編集を心がけている。

●『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場

ロータリアンとしての意見の開陳や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が堂々と議論し、交流を図る「広場という空間」を提供し、『友』誌の縦組みのページが編集されています。

●Magazineには倉庫という意味がある

いろいろな情報や思いが詰まっている倉庫から、何を取り出し、何を学び、何を感





じ取ってもらえるかは、ロータリアン一人一人に託されていることで、『友』はそれらを提供しているにすぎない。『友』を読んでいただくために紙面の刷新を図ろうとも、最後は、これを手にする読者であるロータリアンがどのように自分のために活用してもらえるか、にかかっている。『友』は、最も効率よくロータリー情報を得ることができ、多くのメンバーの意見や経験を見たり読むことができる、ロータリアン共有の宝物である。

●『ロータリーの友』の編集方針

『ロータリー章典』に定められた「ロータリー地域雑誌は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの綱領を推進するために存在する」を遵守し、編集方針を定めている。『ロータリーの友』は日本のロータリー34地区のロータリークラブ会員のためのロータリー地域雑誌として、国際ロータリーの方針や全世界のロータリアン並びにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区・ロータリークラブおよび会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の涵養、ロータリー活動の発展に寄与することを、発行の目的としている。

『ロータリーの友』の変遷

●創刊まで

1952(昭和27)年4月25日、大阪市で開催された地区大会で次年度(1952-53年度)から日本が二つの地区に分割されることが決定。二地区になってからも連絡を緊密にするための共通の機関紙の創刊が企画された。創刊は1953年1月号と決定。

●『ロータリーの友』の名前

遠藤健三氏の提案による。「主婦の友」からヒント。

●広告は創刊号から

定価は1962年12月号まで100円、1974年12月まで110円、1975年1月号から200円。

●その後の『ロータリーの友』の変遷

創刊当初は横組みで発刊。その後縦組みが混在。

1972年1月号から現在の形に変更。

1980年7月号公式地域雑誌(現、ロータリー地域雑誌)となる。2002年7月号からはパソコン編集となりサイズがA4となる。2003年7月号から、全てのページを4色印刷にして、カラー写真の使用を増やした。

●創刊50年で、新しい一歩を踏み出す

発行部数：創刊時3300部、2010年7月号では約99300部。





2003年7月1日ホームページを開設、2007年3月から『ロータリージャパン』(www.rotary.or.jp)と改称。

●表紙について

7月号はその年度の新RI会長の写真を使用することがロータリー地域雑誌としての要件。

8～6月号は一般社団法人ロータリーの友事務所理事会で決定、2010～11年度は「日本の豊かな自然環境」をテーマの写真。

投稿原稿

●投稿の注意点

#クラブ活動等の記事は、活動後1ヶ月以内に送る。縦組みのページは基本的に投稿によって編集されている。横組みページはRI指定記事や月間特集などが主体で企画記事が中心。

●著作権・知的所有権等に注意

引用する場合は必ずその出展を明記すること。

あなたの原稿が『友』誌に確実に載るコツ

●事前に活動の流れを確認して、どのような写真を撮るかを考えておく
生き生きとした写真であること。

●日本全国の人が読むということを意識して原稿を書く

●読者が興味を持ち、役に立つことを書く

相手が知りたいと思うことや知って役に立つのは何なのかを考えて、原稿に取り掛かる。

●新鮮なネタを提供する。

雑誌の記事にも旬がある。投稿原稿は出来るだけ早く送る。



「やせ蛙^{がえる} 負けるな一茶 これにあり」

小林一茶

かえるがけんかをしている。やせたカエルよ、がんばれ負けるな。おれ（一茶）がここについているぞ。
一茶はかえるを自分に見立ててはげましている。
季語：蛙（春）

